

77 B 511
(77 B 511)

特許公報

特許公報
特許公報
昭32-5354

公告 昭32.7.24 出願 昭30.9.13

特許 昭30-24351

発明者 中根孝
同 錦大末吉
同 平佐良介
出願人 横浜ゴム製造株式会社
代理人弁理士 大西冬蔵東京都港区芝田村町5の9 横浜ゴム
製造株式会社内
同所
同所
東京都港区芝田村町5の9

(全2頁)

圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤ

図面の略解

第1図は本発明を実施せるチューブレス・タイヤの輪方向断面図、第2図乃至第5図は各種の補強手段を示せる斜視図である。

発明の詳細なる説明

従来圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤでは気密手段として、ラビリンスパッキングとしてのU型溝を有するゴムシートを以つたのであるが、かような気密手段を有するタイヤにあつては、チューブレス・タイヤの側壁の内側とタイヤビード部にかけてのリム面との間を封緘するにタイヤビード内側の内壁面よりリム裏面に及ぶゴムシートを張りめぐらしたビード内壁に面する部分には特に平縫ゴム布をあわせ貼りつけたのであるが、これではゴムシート自体に初期張力の乏を有しないが、又はたとえ有していても極めて少いのでタイヤの運行中、時には気密保持に困難をきたすに至る、本発明はこの封緘のためのタイヤビード内壁に対する部分のゴムシート自体に金属層、金属コードなどを埋めこんで補強すると共に初期張力を保らべくなしたものである。

これを図面について説明すれば、第1図中1は封緘ゴムシート、2はゴムシート1に埋め込まれた補強用金属リングでこの金属リングの初期張力

を用いてタイヤ内腔の空気圧と共に封緘ゴムシート1をビード内壁4の部分に接着しめて気密を保つ、3は更にゴムシートは弾性を持たせるために埋込んだ金属シートである。第1図に示す補強材としてはコイルゴムスプリングを埋め込んだのであるがこれを拡大図示したものが第2図である。第2図中3は金属シートであるがこれは必要に応じて入れるべきものである。第3図乃至第5図は本発明の他の実施例として示したもので補強並びに初期空気を有する材料として第3図は金属コード5を入れたもの、第4図は波型金属ワイヤ6を入れたもの、第5図では波型金属シート7を入れている、以上の各例では金属材料は初期張力を有すると共に封緘バンドのずり落ちるのを防いでいる。

特許請求の範囲

本文に詳記するように封緘手段を有するチューブレス・タイヤにおいて、タイヤの面ビード部に跨りリム上にリムとビードとの間を気密に保つべき弾性材よりなる封緘装置を具え、該封緘装置のビード内壁に対する部分にはその装置の外縁に沿うて弾性ある金属材を埋めこんだことを特徴とする圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤ。

Japanische Patent-Auslegung Sho-32-5354 vom 24. Juli 1957

(Anmeldung Nr. Sho-30-24351 vom 13. September 1955)

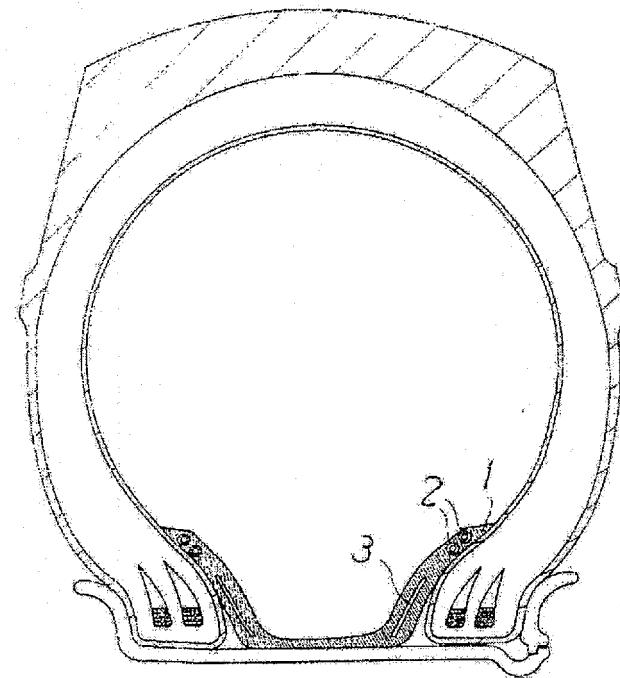
Titel: Schlauchloser Reifen mit einem Druckdichtband

Anmelder: Yokohama Rubber Company, Limited

(2)

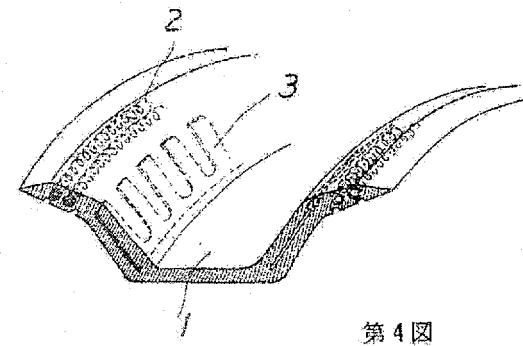
特許出願公告
昭2-6354

第1図

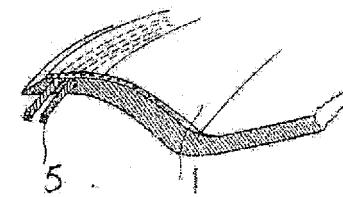


第2図

第3図



第4図



第5図

